

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町 65  
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175  
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「気をつけてね」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

主のご降誕をおよこび申し上げます。

十数年前の夜回りで、あるホームレスの方に毛布と暖かいスープを渡し、その場を離れようとした時、「ありがとう。ご苦労様。気をつけてね。」という言葉が聞こえました。「ありがとう」に加え、「気をつけてね」という言葉に、はっとさせられました。圧倒的に安全ではない困った状況にあるはずなのに「気をつけてね」と声をかけられたのです。その時、私の中に（かわいそうな人たちに、いいことをしてあげている）との自負心があったことに気づき、恥ずかしさを覚えました。「気をつけてね」の一言が、「シャローム」というイエスさまの言葉だと感じました。

イエスさまも、周りの人々から奇異の目で見られ、危険や困難に遭遇し、十字架を覚悟しながら生きられた方です。「シャローム」・「主の平和」は、「おはよう、気をつけてね、元気でね、さようなら」など、いろんな優しさが詰まった言葉です。イエスさまは、どこへ行っても「あなた方に平和がありますように」と挨拶をされましたし、教会に集う私たちも毎週の礼拝の中で「主の平和」と挨拶を交わします。

クリスマスの最高のプレゼントは、イエスさまの「シャローム」という言葉ではないでしょうか。利己心に陥りやすい私たちが、少しでも周りの人たちと優しさを分け合っていければ、すてきなクリスマスを迎えることになり、神さまへのプレゼントになるのではないのでしょうか。イエスさまが、私たち人間の弱さの中に・荒野という心の貧しさの中に・どこか遠い所ではなく私たち一人一人の心の中にお生まれになることを心から感謝したいと思います。

クリスマスおめでとうございます。2016年もみなさまにとって恵みのあふれるよい1年となりますようにお祈り申し上げます。

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」(ルカ2:14)



## □会議・プログラム等予定

(12月25日以降および  
前回報告以降追加分)

### 12月

28日(月) 正義と平和・ジェンダープロジェクト〔東京教区/聖パウロ教会〕

### 2016年1月

10日(日) ~ 11日(月) 2016年アジア青年大会第2回準備会〔名古屋学生青年センター〕

11日(月) 青年委員会〔名古屋学生青年センター〕

14日(木) 正義と平和・日韓協働プロジェクト〔管区事務所〕

14日(木) 主事会議〔管区事務所〕

18日(月) 人権問題担当者会議〔管区事務所〕

18日(月) ウィリアムズ主教記念基金・基金委員会〔立教大学〕

19日(火) 狭山現地学習会〔狭山市〕

19日(火) 常議員会〔管区事務所〕

20日(水) 原発と放射能に関する特別問題プロジェクト研究・広報チーム会〔管区事務所〕

22日(金) 女性の聖職に関わる特別委員会〔管区事務所〕

28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

### 2月

11日(木) ~ 12日(金) 正義と平和担当者会〔聖公会センター1階ホール〕

23日(火) ~ 25日(木) 定期主教会〔ナザレ修女会〕

26日(金) ~ 27日(土) ハラスメント防止・対策担当者会〔大宮〕

### <関係諸団体等会議・他>

12月20日(日) ソウル市少年少女合唱団(子ども合唱オペラ)・王子とクリスマス(昭和音楽大学)

☆ 12月25日(金) は降誕日礼拝のため管区事務所業務をお休みいたします。

☑ 管区事務所の冬休み 12月30日(水) ~ 1月5日(火) 管区事務所業務をお休みいたします。よろしくお祈りいたします。

(次頁へ続く)



(前頁より)

## 2016年

- 1月8日(金) 日本宣教会議準備会〔東陽町〕  
 12日(火) NCC 役員会〔東陽町〕  
 17日(日) NCC カトリック一致祈祷集会〔三光教会〕  
 27日(水) WCRP 新年研修会  
 28日(木) ~ 29日(金) 外キ協全国協議会〔在日本韓国YMCA/東京〕  
 30日(土) 外キ協全国キリスト者集会〔聖ヶ丘教会〕

## □常議員会

第61(定期) 総会期第8回 11月25日(水)

1. 池住常議員より原発と放射能に関する特別問題プロジェクトの報告が以下のとおり行なわれた。
  - ・野村潔司祭ご逝去に伴う委員長交代(相澤牧人司祭) に関して
  - ・リフレッシュプログラムに関して
  - ・仮設住宅支援に関して
  - ・オフィス来訪者に関して
2. 西原常議員より10月26日より31日まで南インド・ケララ州・コチにて開催された「International Reformed-Anglican Dialogue, Kochi, India, 2015」の報告が行なわれた。
3. 中林常議員より「聖公会出版に関する小委員会中間報告」が行なわれた。
4. 「2016年度伝道強化計画書(大斎克己献金応援対象)」申請に関して  
北関東教区から申請のあった「聖バルナバミッションとリー女史記念事業推進委員会計画書」が配布され、検討・協議の結果、承認された。
5. 日本聖書協会からの「日本語聖書新翻訳事

業」協賛依頼に関して、審議の結果、2口の100万円を協賛することで承認された。

6. 尾崎財政主事より、2015年および2016年度管区一般会計収支予想の説明を受け、これを承認した。また、一般会計・資金勘定の統廃合の提案説明を受け、審議の結果、以下のように決議した。
  - ・A-1 教役者恩給資金と A-2 婦人特別援助金を A-10 アイザック資金へ統合。
  - ・A-23 海外協働者派遣資金を A-8 日本聖公会海外宣教資金に統合。
  - ・A-11「訓練計画」資金と A-19 海外研修資金は、A-24 日本聖公会研修支援資金に統合。訓練計画資金の運用規程をもとに規程を整備する。

次回以降の常議員会 2016年1月19日(火)  
4月14日(木)

## □各教区

## 東京

聖職按手式 2016年1月24日(日) 14時ス  
 コットランド聖公会 アバディーンおよびオー  
 クニー島教区 聖ニニアン教会(St. Ninian's  
 Episcopal Church) 説教: 主教大畑喜道  
 司祭按手: 志願者 執事 ヨハネ塚田重太郎

† 逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

パウロ水澤郁夫 (北関東教区・元総会信徒代議員) 2015年12月3日(木) 逝去(84歳)  
司祭 ヨハネ加納重朗(京都教区・退職) 2015年12月12日(土) 逝去(87歳)

## □訂正

- ・ 前号記載の逝去者のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。  
(正) 主教 パウロ伊東 宏
- ・ 前号記載の2015年教区選出常置委員一覧の北関東教区・常置委員長は、小野寺 達司 祭でした。

## 《人 事》

## 北海道

司祭 ラザロ雨宮大朔(退) 2015年10月31日付 網走聖ペテロ教会における囑託司祭の委嘱を解く。(雨宮司祭は11月19日、ご逝去)  
執事 クリストファー永谷 亮 2015年11月22日付 札幌キリスト教会における聖職候補生としての任を解く。  
2015年11月23日付 札幌キリスト教会の牧師補に任ずる。

## 京都

<信徒奉事者許可> 2015年12月1日付  
(富山聖マリア教会) ビリポ 廣瀬康夫 (任期1年)

## 大阪

司祭 パウロ井上進次 2015年11月20日付 2016年3月31日まで休養を命じる。  
司祭 ウイルソン ウォーレン 2015年11月20日付 2016年1月から3月まで毎月、第1、第4、第5日曜日、尼崎聖ステパノ教会における主日勤務を命じる。  
司祭 ヨハネ木村幸夫(退) 2015年11月20日付 2016年1月から3月まで毎月、第2、第3日曜日、尼崎聖ステパノ教会における主日勤務を委嘱する。  
司祭 サムエル松岡虔一(退) 2015年11月20日付 2016年1月から3月まで毎月、第2日曜日、恵我之荘聖マタイ教会における主日勤務を委嘱する。

## 神戸

司祭 パウロ上原信幸 2016年3月31日付 神戸聖ミカエル教会牧師を解任  
2016年4月1日付 岡山聖オーガスチン教会牧師に任命  
司祭 ヨハネ角瀬克己 2016年3月31日付 岡山聖オーガスチン教会管理牧師を解任  
司祭 オーガスチン小林尚明 2016年3月31日付 広島復活教会牧師を解任  
2016年3月31日付 浜田基督教会管理牧師を解任  
2016年4月1日付 徳島インマヌエル教会牧師に任命  
2016年4月1日付 富岡キリスト教会管理牧師に任命  
2016年4月1日付 鳴門聖パウロ教会管理牧師に任命

司祭 パウロ瀬山公一	2016年3月31日付	徳島聖インマヌエル教会牧師を解任
	2016年3月31日付	富岡キリスト教会管理牧師を解任
	2016年3月31日付	鳴門聖パウロ教会管理牧師を解任
	2016年4月1日付	神戸聖ミカエル教会牧師に任命
司祭 バルナバ瀬山会治	2016年3月31日付	境復活教会管理牧師を解任
	2016年4月1日付	浜田基督教会管理牧師に任命
司祭 ダビデ林 和広	2016年3月31日付	立教英国学院チャプレンを解任
	2016年4月1日付	高地聖パウロ教会牧師に任命
司祭 オーガスチン與賀田光嗣	2016年3月31日付	高地聖パウロ教会牧師を解任
	2016年4月1日付	立教英国学院チャプレンに任命
司祭 ヨシユア長田吉史	2016年3月31日付	広島復活教会副牧師を解任
	2016年4月1日付	広島復活教会牧師に任命
司祭 ミカエル杉野達也	2016年4月1日付	境復活教会管理牧師に任命
執事 セバスチャン浪花朋久	2016年3月31日付	神戸聖ミカエル教会牧師補を解任
	2016年4月1日付	浜田基督教会牧師補に任命
聖職候補生 パウロ歳實 勲	2016年4月1日付	神戸聖ミカエル教会勤務を命ず
聖職候補生 テモテ遠藤洋介	2016年4月1日付	広島復活教会勤務を命ず
司祭 バジル八代 智	2016年4月1日付	神戸国際大学付属高校チャプレンに任命
バルナバ 野間光顕	2016年4月1日付	神戸国際大学レイチャプレンに任命

#### □出版物案内

##### ・『2016年度 教会暦・日課表』

2015年10月15日付発行 価 300円(税込) ※ご注文は管区事務所にお問い合わせいたします。



## クリスマスに寄せて

もう20年以上前になるでしょうか。私が管区事務所の総主事をしていた最初の冬、クリスマス礼拝の司式を頼まれ、福島県の平聖ミカエル会衆の教会（礼拝堂）に家族と参りました。確か、いらっしゃったのは数人の信徒の方だったと記憶しています。礼拝堂に入って驚いたのは、まず立派なもみの木でした。なんの飾りもなく、でも青々とした美しい木でした。そして祭壇には1本の白百合の花が凛とした姿で生けられていたのです。最初は、クリスマスの日でありながら、その簡素なたたずまいに驚きましたが、次第になんとも言えず平安な気持ちに満たされました。その白百合の花の姿は聖マリヤの姿に重なりました。

クリスマスというと誰もが楽しいことを、華やかなことを、きらめきのあることを考えます。イルミネーションあり、クリスマスソングあり、ごちそうあり、お菓子もたくさん。教会だけでなく、街中、もうすでに降臨節に入る前から沸き立っています。私たちがそのような中、クリスマスを教会の行事の中でも特別楽しい日にしたいと様々なことを考えるのです。

けれどもどうでしょうか。そのような中で、時にはたまらなく空しいような、寂しいような、なんともいえない孤独を感じることはないでしょうか。わくわくするような楽しさを覚えながらも、いや、これではない、これが本当に待ち侘びているクリスマスではない・・・、そういう思いに駆られるのです。日々の忙しさにあるのかもしれませんが。あるいは、周りにクリスマスを喜べない、辛い状況にある人たちがあまりにも多いからかもしれません。街のきらめきに目を背けたくなるような気持ち・・・。そのような時、かつて平の礼拝堂で見た、祭壇の白百合の花が甦ります。あたかも聖マリヤのひたむきな信頼が目に見えたように思い出すのです。

おことばどおり、この身になりますように・・・。それは、ひとりの少女が負うにはあまりにも重い出来事ながら、ひたすら主を信じてすべてを受け入れた信仰のことば、そして、今、苦しんでいる人たちにとっての希望のことばだと思ひ起こすのです。

ご降誕の夜のこともう一度静かに思い巡らしたいと思います。

首座主教 北海道教区主教 ナタナエル 植松 誠

## 各教区財政担当者連絡協議会を開催 2015/12/11～12/12

—財政を固めつつ、宣教体制に取り組む—

管区財政主査 高橋 保

2015年12月11日(金)～12日(土)、日本聖公会センター(東京教区牛込聖公会聖バルナバ教会ホール)にて、首座主教臨席のもとに各教区財政担当者連絡協議会を開催した。協議会は総会が開かれる前年に2年ごとに開かれている。今回は沖縄教区を除く10教区の財政担当者が出席した。会議は山中財政主査の司会で協議が進められた。

協議する内容は事前にアンケートを取り、各教区の課題、管区への要望を整理し、意見交換、情報交換の他に、税務、マイナンバーへの対応等、盛りだくさんであった。進行表に基づいて協議した内容を以下に報告します。

### 管区一般会計の報告、聖公会年金管理システムの開発、給与関係など

管区より一般会計の決算はほぼ予想通り推移していると尾崎財政主査の説明があり、中林財政主査より、聖公会年金の現状と見直しについて説明を受けた。総会で決議された「給付減・抛増」は本年1月より実施され、維持資金からの繰り入れが400万円減少する見込みであり、なお来年春ごろ利益のほとんど出ていない信託を解約し、自主運用する。そのため年金管理システムを開発すると話が合った。

アンケート集計の給与関係では、2013年より給与改定をした教区は4教区で、2教区が給与増加、2教区が減額であった。その他の件は翌日の議題となった。

### 各教区の課題を語り、情報を交換する

多くの時間は各教区の課題と情報交換に充てられた。どの教区も信徒の高齢化、財政の悪化に苦勞している。

(北海道教区) 資産の運用によりここ数年、年1500万円からの果実を得て、財政を補ってんしている。投資信託で元本保証がないので、今後は

元本保証商品へのシフトを考える。現役世代の献金額が少ない、教区一体で献金教育をする。(東北教区) 収益事業で年間4500万円の事業収入があるが、借入金返済、所得税等で、実質教区繰り入れは半分程度。

(北関東教区) 献金の減少により、事業収入への依存度が高まっている。

(東京教区) 教役者数減で、1人で2～3教会を兼牧。組織再編活動プロジェクトが進行中。

(横浜教区) 給与の援助・補助金制度が行き詰まりを見せている。長期宣教計画検討委員会を設置。財政も含めて検討中。

(中部教区) 教役者給与を献金以外の関連法人や諸活動から捻出する仕組みを作っているが、その収入の減少、牧会活動の低下が問題。

(京都教区) 収益事業の縮小で財政は厳しいが、若い教役者が入り、信徒数の減少が止まりつつあるとの明るい話があった。

(大阪教区) 11教区で財政を含め一番安定している。京都教区と合併が課題。

(神戸教区) 人件費が増え、献金は減少しているが、若い聖職が増えている。6伝道区を作り、その自主性を尊重し、基金を作るように働きかけている。

(九州教区) 教区分担金決定方法に普通献金以外に臨時献金、事業収入を含めている。献金を把握するため、信徒総会資料の提出を求めている。他教区でも一考に値するのではないか。

以上が教区担当者の話した内容の極く一部である。

### マイナンバー／大齋克己献金／収益事業

会議2日目には久保田財政主査(税理士)より、マイナンバーの話があり、ナンバー管理はペーパーで行なって、パソコンではしない方がよいとのことであった。税務の質問が多く、分りやすく説明され、好評であった。

矢萩総主事より来年度大斎克己献金は「聖バルナバミッションとリー女史記念事業推進委員会計画」に捧げられる。年々献金が減少しており、教役者中心にアピールが必要であるとのことであった。

山中財政主査より収益事業アンケート報告があり、管区を含め事業収入は年間2億3000万円で、総収入の10%強となっているが、減価償却費を積立てておらず、将来は不安だとの報告があった。その他会計監査体制について情報交

換をした。管区への要望があった統計報告書記入の手引きを見直すことになった。また、教役者給与支援システムについて意見が交わされ、継続する方向だが今後は多少の見直しがあるかもしれない。

\* \* \*

各教区とも財政は厳しいが明るい話もあり、それぞれが宣教体制の改革に取り組んでいる。情報交換することによって、参考になることが多く有意義な協議会になった。

## 再録

『いのちの川』 第8号(2015年9月)  
原発と放射能に関する特別問題プロジェクト・  
ニュースレター

### 今年7月の福島での体験

今年の7月、福島に行った。毎年1~2度行かなければ、あそこで起こったことの実感が薄れてしまうからである。事態は何にも改善されていない。

常磐道を北上した。やがて道沿いに、真っ黒の大きなビニール袋に詰められた除染土が目立ち始めた。庭の表土が集められてはいても、その庭の一角に積み上げられているなら、除染には一体どんな意味があるというのか。

その大きなビニール袋が、田畑に4~5段も重ねられ、延々と続いている場所もあった。除染土を処分する方法は、まだ誰にも分からない。

富岡町宝泉寺の墓地の一角にあったビニール袋の上部には、「平成27年6月17日除染、5.14マイクロシーベルト」と記入されていた。そこで持参した線量計で計ると、11.1マイクロシーベルトだった。2倍以上の開きがあるのは何故なのだろう。

いつものとおり、飯舘村の村役場にも行った。地上1メートルの線量が0.41マイクロシーベルトと示されていたが、地上で図ると、1.12マイクロシーベルトだった。この地域では、一部に居住許可が出たが、幼い子どもは地上で遊ぶわけ

で、子どもが日常的に浴びるのは、正式に発表される数値よりずっと高いとみなければならない。

その飯舘村の村役場の線量掲示場所の下には、クローバーが群生していた。クローバーがあれば何となく四つ葉のクローバーを探すのが習性となっている私は、無意識の内にその四つ葉のクローバーを探した。何と、1メートル四方の範囲の中で、四つ葉・五つ葉・六つ葉のクローバーを17本も見つけた。たった5分ほどの間に。

郡山では、30歳代の二人の女性からお話を伺うことが出来た。その内容を分かち合うことの了解を得たのでここに記載することとする。

Aさんは、お子様の健康のことを思うと、福島産の食物も水道水も一切口にできないと言う。放射能の問題は、日々の生活の中で最も重要な問題であるが、それについては、幼稚園仲間のお母さんたちと話し合えない。なぜなら、「そんなことを言っていたら生きて行けない」という立場に立とうとする人と、険悪なムードになることが分かっているからだという。

同様の意味で、同席していたBさんも夫婦間に於いてすら放射能のことについては話し合えないと言う。妊娠・出産・子育てという人生にとって非常に大切な事柄が、夫婦間で話し合えない切なさが、私の心を締め付けた。

命を尊ぶというキリスト教の観点に従えば、原発はあまりにもその障害が大きい。

(東京教区司祭 神崎雄二)

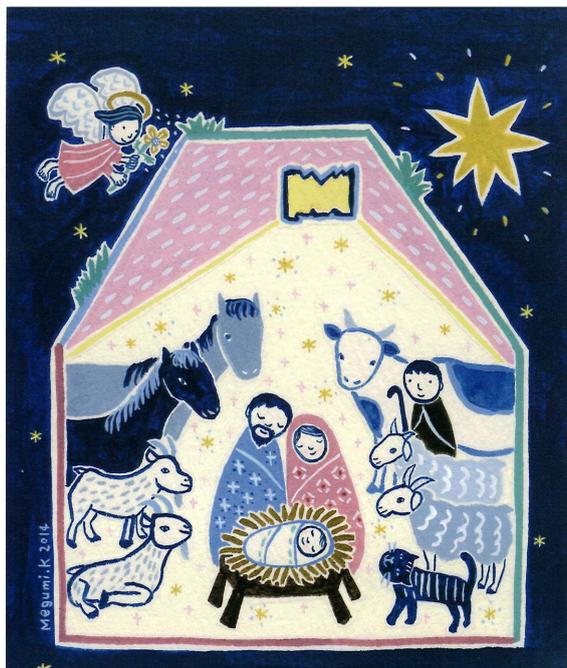
# Merry Christmas and a Happy New Year

矢萩 新一      + Makoto      植松 誠      鈴木 一

大山 義幸      尾崎 茂雄      マルコ 谷川 誠

Paul      大岡 基      Tame Tomoko  
 ホール トピアーズ

阪田 隆一      鈴木 沙由      下之園 永利子  
 Cecilia S.S.



絵・かるべめぐみ

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>  
 ☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメールでお寄せください。